

令和6年度 第3回 地域密着型特別養護老人ホーム 夢 運営推進会議記録

事業所名(サービス種別)	地域密着型特別養護老人ホーム 夢	
開催場所	アプロディーテ 1階ホール	
開催日時	令和7年 3月 9日(日) 10:00 ~ 11:00	
参加者	利用者	
	利用者の家族	全利用者様ご家族様へ案内を送付し5家族6名出席
	地域住民の代表者	南自治会長・民生委員に案内を送付し欠席の連絡あり
	各務原市職員	各務原市役所 健康福祉部介護保険課:若山敬嗣様
	地域包括支援センター職員	地域包括支援センターかかみ野 高美智代様
	事業所職員	施設長:板津弘豊 生活相談員:村瀬和美
記録作成担当者	村瀬 和美	

1 運営推進会議の議題

- (1) 利用者(入居者)の状況(利用状況・男女別・平均介護度)
- (2) 施設状況の報告について
- (3) 活動報告
- (4) 研修報告
- (5) ヒヤリハット・事故報告
- (6) 今後の予定について
- (7) その他
 - ①面会について
- (8) 質疑応答

2 議題に関する要旨

- (1) 利用者(入居者)の状況(利用状況・男女別・平均介護度)

令和7年3月8日現在
 舞ユニット:男性4名 女性5名 (1床空き)
 希ユニット:男性1名 女性9名 (満床)
 憩ユニット:男性3名 女性6名 (満床)
 平均介護度 3.82
 入居者合計 28名

- (2) 施設状況の報告について

職員25名 (常勤15名 非常勤10名)
 施設長 1名(常勤兼務)
 生活相談員 1名(常勤専従)
 介護支援専門員 1名(常勤兼務)
 管理栄養士 1名(常勤専従)
 機能訓練指導員 1名(常勤専従)
 介護職員 14名(常勤8名 非常勤6名)
 看護職員 2名(常勤2名 非常勤0名)
 厨房職員 5名(常勤1名 非常勤4名)

- (3) 活動報告について

(参考様式)

- | | |
|---------|------------------------------|
| ① 11/19 | 干し柿づくり |
| ② 11/24 | 憩ユニット誕生日会(管理栄養士による手作りデザート提供) |
| ③ 12/7 | 憩ユニット歓迎会(デザート テイクアウト) |
| ④ 12/22 | クリスマス会(オードブル提供) |
| ⑤ 2/3 | 節分(昼食時 節分にちなんだメニューを提供) |

(4) 研修報告について

【外部研修】

- | | |
|---------|--------------------------------------|
| ① 11/26 | 令和6年度 各務原市集団指導講習会(施設長・生活相談員 オンライン研修) |
| ② 2/3 | 人材確保及び処遇改善加算研修(施設長 オンライン研修) |

【内部研修】

- | | |
|-------|--|
| ① 12月 | リスクマネジメント委員会による 身体拘束・虐待研修
全職員 (厨房職員・アシスタント除く) 資料配布し書面によるアンケート方式
1月に集計結果を周知する |
| ② 1月 | BCP研修
全職員 資料冊子の回覧 (回覧後、休憩室に配置しいつでも確認できる状態とする。) |
| ③ 2月 | リスクマネジメント委員会による 身体拘束・虐待研修
全職員 (厨房職員・アシスタント除く) 資料配布し書面によるアンケート方式 |

(5) 事故報告について

(令和6年12月1日～令和7年3月9日まで)

- | | |
|----------|----------------------|
| ① ヒヤリハット | 0件 |
| ② 事故 | 10件(転倒・転落関連9件、その他1件) |

(6) 今後の予定について

【ユニット行事】

誕生日会、歓迎会 他

【施設行事】

ひなまつり 花見ドライブ 他

感染症に留意し、隨時外気浴も実施予定。

(7) その他

① 面会について

- ・前日までに必ず面会予約を入れてください。予約のない面、当日予約はお断りさせて頂きます。
- ・面会はご家族様のみとし、中学生以下の子様の面会は控えてください。
- ・面会時間はお一人家族様10分までとさせて頂きます。
- ・現在、面会は玄関にてガラス越しでお願いしておりますが、「声が聞き取りづらい」と言った意見も頂いております。ご家族様、入居者様双方にマスクの着用と手指消毒をお願いしたうえで事務所前での面会を実施させて頂いております。

インフルエンザは落ち着き始めましたが、コロナ感染の報告をちらほらと耳にします。また、現在県内ではノロウイルス感染症が流行しています。ご家族様にも体調管理と感染対策を行って頂き、面会を行っていきたいと思います。

4月からは段階を踏まえて緩和していき、居室での面会を再開できるよう努めてまいります。

(8) 質疑応答

ご家族様:

質問① 4月からあれば外出は可能ですか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。外出は可能です。また外食に関しましても、市内の感染状態を踏ま

えた上で段階的に対応可能とさせていただきます。また職員の都合が合えば送迎のお手伝いをさせて頂きますのでまたご相談ください。

質問② 外国人の方が入職されるとのことですが、日本語が出来る方なのですか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。日本の大学を卒業後、別の事業所で就職されていましたので日本語はとても流ちょうな方です。メールでのやり取りで漢字を入れても問題なく返信が返ってくるので心配はないと思われます。介護福祉士の資格も持っています。夢でも2年前から2名の特定技能実習生を受け入れていますが、2名とも最初の時と比べてとても上手に日本語を話すことができ、ご利用者様・職員とも問題なくコミュニケーションを取ることができます。

地域包括支援センターかかみ野 高様:

1. BCP(業務継続計画)について

質問① 避難訓練を行っていると思いますが、地震が起きた際の初動について命を守る行動や気を付けて訓練していることはありますか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。夢では毎年9月と3月に避難訓練を行っており、3月は夜間想定での訓練を

行います。また夢では、過去に不審者・ミサイルと言った想定でも訓練を行っています。多いのは地震と火災、もしくは地震からの火災となります。委員会を立ち上げているため、避難訓練後に反省点を出してもらい、危険箇所の確認を行っています。

2. 虐待研修について

質問① もしご家族様が虐待を見つけたり相談したいと思った時、相談窓口はご存じ(周知されている)ですか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。新しく入所された方には入居契約の際に説明させて頂いております。また、玄関に相談窓口のポスターが貼ってあり、事務所前にはご意見ボックスを設置していますが、周知となるとご存じない方もいらっしゃるかもしれません。

地域包括支援センターかかみ野 高様:包括でも相談を受けるので、ご家族様が不安になった時に「ここに相談できる」と言うことがわかってみえれば問題はないと思います。

夢 板津:先日行われた会議でも議題に上がり、施設側の考え方とご家族様の考え方ではそれぞれ違いはあるかと思います。しかし、虐待はあってはならないことですので、議事録に残し職員にも意識付けを行い、周知徹底していきます。また、職員のストレス軽減の為個人面談を進めており、気付いたことや気になる点について話をさせて頂いています。施設全体として虐待はないように徹底して取り組んでいきます。

各務原市役所健康福祉部介護保険課 若山様:

1. ご家族様との関係づくりについて

意見:感染症が流行っていると面会制限などでどうしても外部から閉ざされた状態となってしまいます。例えば週1での面会であれば変化に気づくことができますが、制限があると気付くのが遅くなり、気づいたときに不信感を与えることになります。市役所にもそういった問い合わせがありますが、聞いてみると高齢の方ですので少しうつかったとか、特養であれば介護度も高いため介助の際にいた傷と言ったことが多いです。そういう時にご家族様との関係が悪化しないような関係づくりが重要となってくると思います。そういう話し合いの場を設けることも考慮してもらえるといいかと思います。

夢 板津:ご意見ありがとうございます。

2. BCP(業務継続計画)について

質問① 災害時の対応についてご家族様に説明していますか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。特にしておらず、会議内でこういった研修を行っていると報告しているのみです。

質問② 安否確認や被害状況の連絡体制はどうしていますか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。4月以降にタブレット導入し、アプリを入れてそこに職員の連絡網

を入れ、緊急時はそこからメールなどを一斉送信出来る形にしたいと考えています。可能であればご家族様にも登録してもらい、被害状況を報告したいと思っています。能登半島地震でも電話での通話ができず、SNSでの連絡が有力であったと聞いています。そういったところで、少しでも機器を使って発信できたらと思っていますので、早急に整備を進めていけたらと思います。

各務原市役所健康福祉部介護保険課 若山様:電話は繋がらないと考えてもらった方がいいです。アプリやメールであればサーバーが生きていれば送ることも可能なので、そちらの整備を進めてもらえるといいと思います。

夢 板津:ぜひ取り入れてご案内できたらと思います。

夢 板津:

先ほども虐待の件で話をさせて頂きましたが、私たちが毎日見る状態の変化とご家族様が面会時に見る状態の変化では大きな違いがあると思います。やはり信頼関係を築いていることが大事だと考えておりますので、包み隠さず報連相をしようと会議でも再確認したところです。こちらも包み隠さず報告させて頂きますし、何かあれば聞いて頂ければと思いますのでよろしくお願ひします。

地域包括支援センターかかみ野 高様:

1. BCP(業務継続計画)について

質問① 避難訓練を行っていると思いますが、地震が起きた際の初動について命を守る行動や気を付けて訓練していることはありますか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。夢では毎年9月と3月に避難訓練を行っており、3月は夜間想定での訓練を行います。また夢では、過去に不審者・ミサイルと言った想定でも訓練を行っています。多いのは地震と火災、もしくは地震からの火災となります。委員会を立ち上げているため、避難訓練後に反省点を出してもらい、危険箇所の確認を行っています。

2. 虐待研修について

質問① もしご家族様が虐待を見つけたり相談したいと思った時、相談窓口はご存じ(周知されている)ですか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。新しく入所された方には入居契約の際に説明させて頂いております。また、玄関に相談窓口のポスターが貼ってあり、事務所前にはご意見ボックスを設置していますが、周知となるとご存じない方もいらっしゃるかもしれません。

地域包括支援センターかかみ野 高様:包括でも相談を受けるので、ご家族様が不安になった時に「ここに相談できる」と言うことがわかってみえれば問題はないと思います。

夢 板津:先日行われた会議でも議題に上がり、施設側の考え方とご家族様の考え方ではそれぞれ違いはあるかと思います。しかし、虐待はあってはならないことですので、議事録に残し職員にも意識付けを行い、周知徹底していきます。また、職員のストレス軽減の為個人面談を進めており、気づいた点や気になる点については面談にて話をしております。施設全体として虐待はないように徹底して取り組んでいきます。

各務原市役所健康福祉部介護保険課 若山様:

1. ご家族様との関係づくりについて

意見:感染症が流行っていると面会制限などでどうしても外部から閉ざされた状態となってしまいます。例えば週1での面会であれば変化に気づくことができますが、制限があると気付くのが遅くなり、気づいたときに不信感を与えることになります。市役所にもそういった問い合わせがありますが、聞いてみると高齢の方ですので少しうつかったとか、特養であれば介護度も高いため介助の際にいた傷と言ったことが多いです。そういった時にご家族様との関係が悪化しないような関係づくりが重要となってくると思います。そういう話し合いの場を設けることも考慮してもらえるといいかと思います。

夢 板津:ご意見ありがとうございます。

2. BCP(業務継続計画)について

質問① 災害時の対応についてご家族様に説明していますか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。特にしておらず、会議内でこういった研修を行っていると報告しているのみです。

質問② 安否確認や被害状況の連絡体制はどうしていますか？

夢 板津:ご質問ありがとうございます。4月以降にタブレット導入し、アプリを入れてそこに職員の連絡網

を入れ、緊急時はそこからメールなどを一斉送信出来る形にしたいと考えています。可能であればご家族様にも登録してもらい、被害状況を報告したいと思っています。能登半島地震でも電話での通話ができず、SNSでの連絡が有力であったと聞いています。そういったところで、少しでも機器を使って発信できたらと思っていますので、早急に整備を進めていけたらと思います。

各務原市役所健康福祉部介護保険課 若山様：電話は繋がらないと考えてもらった方がいいです。アプリやメールであればサーバーが生きていれば送ることも可能なので、そちらの整備を進めてもらえるといいと思います。

夢 板津：ぜひ取り入れてご案内できたらと思います。

夢 板津：

先ほども虐待の件で話をさせて頂きましたが、私たちが毎日見る状態の変化とご家族様が面会時に見る状態の変化では大きな違いがあると思います。やはり信頼関係を築いていることが大事だと考えておりますので、包み隠さず報連相をしようと会議でも再確認したところです。こちらも包み隠さず報告させて頂きますし、何かあれば聞いて頂ければと思いますのでよろしくお願いします。